

本の紙を造っている人の存在を知
るだけで、ふだん手に取る本の重み
が変わります。復興は人力なのだと
も感じた一冊です。

紙つなげ！

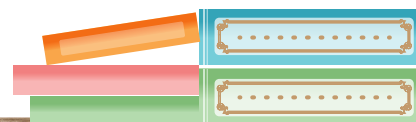
彼らが本の紙を造っている

佐々涼子



中学生に^{すす}薦めたい、 この1冊。(20歳代^{さい}編)

さまざまな年代の人に、中学生に薦めたい本を聞いてみました。
今回は20歳代編です。
本を選ぶときの参考にしてください。



「長女だから」といろいろなこと
を我慢させられているクローディア
は、弟をつれて美術館へ家出します。
そして、人間が生きるために必要な
「何か」を手に入れます。

クローディアの秘密

E=L=カニグズバーグ



『ブラック・ジャック』などの漫
画を引用しながら、生命倫理をわか
りやすく解説しています。正解はあ
りませんが、ぜひ考えてみてほしい
テーマが満載です。

はじめて学ぶ生命倫理

小林亜津子

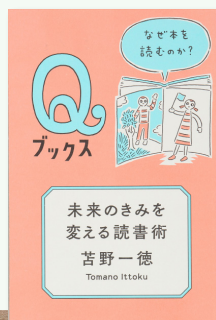


読書経験は人生を自由にする。自
由に歩き出すための本の読み方。

未来のきみを変える読書術

なぜ本を読むのか？

とまの いっどく
苫野一徳



視覚支援^{しきよう}学校に通う中学1年生
が、事件を乗り越え、外の世界へ。

手で見るぼくの世界は

かしごき あかね
榎崎 茜



「おとなになるってどういうこ
と？」から始まり、勉強すること、
生きるということについて考えら
れる。責任をもつことと自由に生きる
ことは両立可能です。

おとなになるってどんなこと？

吉本ばなな

